

2003年度 新人オリエンテーションプログラム

新卒ナースに対する基本的看護技術演習

目標

1. インストラクターの指導を受けながら基本的な看護技術を体験し、下記の事項を習得する。
 - 1) 各自それぞれの看護技術に関する理解や実践の程度を明らかにする。
 - 2) 看護技術の「安全」について再確認する。
 - 3) 今後の実践にむけて不安または緊張感の軽減ができ、準備状態を作る。
2. 看護技術の実践において、看護手順活用の必要性を知る。

対象者

原則として、2003年度に就職した新卒ナース全員。

日時

2002年4月4日（金曜日）14:00～17:30

場所

聖路加国際病院研修室A、聖路加看護大学アールーム（実習室）

演習プログラム

模擬患者を想定して、下記に示すような内容を実践する。

14:00		15:30				16:00				17:30		
1班	日常生活行動援助技術項目(14:00～15:30)					1班	診療援助にかかわる技術項目(16:00～17:30)					
	場所:看護大学実習室						場所:研修室A					
技術項目	オリエンテーション	点滴挿入中の患者の寝衣の着脱	患者の移送 (仰臥位から座位、車椅子移動)	酸素ボンベの使い方	休憩と移動 (15:30～16:00)	技術項目	オリエンテーション	与薬の準備	点滴の準備 (混注作業、ラインのセット、三方活栓の使い方)	ネームバンドの確認、滴下調節、輸液ポンプの使用		
2班	診療援助にかかわる技術項目(16:00～17:30)					2班	日常生活行動援助技術項目(14:00～15:30)					
	場所:研修室A						場所:看護大学実習室					
技術項目	オリエンテーション	与薬の準備	点滴の準備 (混注作業、ラインのセット、三方活栓の使い方)	ネームバンドの確認、滴下調節、輸液ポンプの使用		技術項目	オリエンテーション	点滴挿入中の患者の寝衣の着脱	患者の移送 (仰臥位から座位、車椅子移動)	酸素ボンベの使い方		

プリセプターシップについて

2000.

I. プリセプターシップ (Preceptorship) とは何か？

看護の基礎教育を学校で終了し新しくナースとして仕事を始める人、あるいは職場を新たに交える人は、誰でもが期待とともに不安を抱えています。このような「新人」を迎えるにあたって当院では新人ができるだけ早く不安をなくし、職場の雰囲気にもなじんで日常業務ができるように指導・援助する方法としてプリセプターシップを導入してきましました。

プリセプターシップとは、一人の先輩＝指導者 (Preceptor) がある一定の期間、責任をもって一人の新人 (Preceptee) に対してオリエンテーションを行なう方法を言います。

II. プリセプターシップの目的

先輩と新人ナースの「教師－学習者」関係を通して、新人ナースが深刻なリアリテイションを体験することなく、配属部署で専門職者として少しでも早く看護業務を理解し実践でき、ナースとしてやっていけるという自信がもてるように個々の成長のプロセスを支援する。

III. プリセプターシッププログラムの目標

1. プリセプターシッププログラム開始前

- 1) 病院および各看護単位で行なわれているオリエンテーションプログラムの理解できる。
- 2) プリセプターシップの基本的な考え方を理解し、プリセプターが自分にとつてどのような役割をもっているかを理解できる。

*プリセプターシップに参加する者は、お互いどのような役割をもっているかを理解できる。

2. プリセプターシップ終了後 (プリセプターシップ評価表参照)

- 1) その看護単位で重要かつ頻回に行なわれる看護ケアあるいは看護技術が一人できる。
- 2) 自分にはわからないこと、できないことは何かを知り、調べたり質問することができる。
- 3) 患者と接するときの態度や言葉づかいが自然にできる。
- 4) 一日の業務、日課の流れのなかで、少しの援助で主体的に行動できる。
- 5) 同僚やそこで働く職員と協働性を築くことができる。

6) 患者の看護記録 (行なわれた治療、処置、検査や行なった看護ケア、観察した事柄) が書ける。

7) 看護単位の雰囲気になじむことができる。

8) 何とかかやっついていけるという気持ちを持つことができる。

9) 自分自身の健康管理ができ、勤務表に合わせた生活パターンを組み立てることができる。

10) 自分自身のストレスや悩みごとを相談できる相手、自分を支持してくれる人が誰かを知り、その人と良い人間関係を持つことができる。

IV. プリセプターシップ期間

8 週間を基本とします。8 週目をゴールとしてオリエンテーションの計画を立ててください。但し、新人 (Preceptee) により適宜、計画を調整してください。

V. プリセプターシップにおける役割責任とサポート体制

1. プリセプターの役割

2. プリセプティの役割

3. 婦長の役割

4. 同僚の役割

VI. プリセプターシップの評価

- 1) プリセプターとしての評価
支援、実地、教育、評価
- 2) プリセプティとしての評価
技術・実践、態度、支援をうける、自己管理

1. 目的

先輩と新人看護婦の「教師-学習者」関係を通して、新人看護婦が深刻なリアリティショックを体験することなく、配属部署で専門職者として少しでも早く看護業務を理解し実践でき、看護婦としてやっていけるという自信がもてるように個々の成長のプロセスを支援する。

2. 定義

1) プリセプター

プリセプターとは、新人ができるだけ早く不安をなくし職場の雰囲気にもなじんで日常業務ができるよう、指導・援助する先輩看護婦をいう。

2) プリセプティ

新人看護婦

3. プリセプターの選択基準

臨床経験3年以上もしくはそれを相当する人がのぞましい。

4. プリセプターの準備(または教育)

プリセプターになる予定の者は、必ず1回はプリセプターのためのワークショップに参加する。

5. プリセプターシッププログラムにおける各役割

- プリセプター (資料1)
- プリセプティ (資料2)
- 同僚 (資料3)
- 婦長 (資料4)

6. 看護教育部の役割

- 1) プリセプターのためのワークショップの企画・運営
- 2) プリセプターシップ期間中の支援
- ・プリセプターシップ期間における目標、話し合いに関するガイダンス提示(表1)
- ・教育担当者は少なくとも1週間に1~2回は各部署に向かい、問題や支援の必要性の有無について情報収集する。
- 3) プリセプターシップ期間中の中間評価、終了後の評価を実施する。

表1

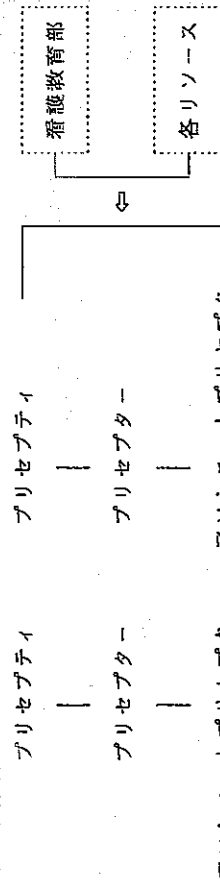
時期	目標	ミーティングの内容
(例) 第1週目	①職場の雰囲気慣れる ②1日の時間のリズムを作る	
第2週目	部署毎の目標設定	プリセプター同志の話し合い プリセプティ同志の話し合い プリセプター・プリセプティ 合同の話し合い
第3週目		
第4週初め	プリセプター-中間ミーティング(中央)	
第5週		
第6週初め	プリセプティの中間ミーティング	
第7週		
第8週		
第9週	プリセプターを終えて(中央)	

7. 看護管理室およびリソースナースのサポート体制

(看護部長)

- ・看護部長はプリセプター-シッピングプログラムの全体にわたって支援する。
- ・看護部長とプリセプター・プリセプティとの話し合いの機会をそれぞれに設ける。

(サポート体制図)



プリセプター-アドバイザー

婦長 婦長

看護部長

新人に対する評価

所属部署 氏名

「評価スケール」 5点:非常にできた 4点:わりにできた 3点:多少できた 2点:殆どできなかった 1点:まったくできなかった

評価項目		評価成績					コメント
		5	4	3	2	1	
技 術 ・ 実 践	チャート及び電子チャート（患者プロフィール、患者スケジュール、経過表など）の主要な内容を読み取ることができる						
	患者について知りたい情報はどこを見ればよいかがわかる						
	レポートの内容が大体わかる						
	一日の看護業務の流れがわかる						
	患者に苦痛があるかどうかを見極めることができる						
	生命の危険の有無を判断することができる						
	その患者にとって何が問題かを述べることができる						
	今、何をすべきかを判断することができる						
	与薬、処置、検査などを行う場合は必ずネームバンドで患者確認ができる						
	基本的なケアが1人でできる						
	与えられた業務を時間内に手順にそってできる						
	わからないことは何かを自覚でき、調べたり聞いたりすることができる						
	業務遂行上、最低限の記録や実施入力ができる						
	1) 体温表						
	2) 患者データベースもしくは患者プロフィール						
3) 経過表、Continuation Sheet、2号用紙、ICU/CCU・救急 PROGRESS RECORD など							
4) 患者スケジュール							
5) フォーシート							
態 度	所属する部署で一緒に働く人の名前と役割を理解できる						
	言葉遣いや態度で患者に不快感を与えないようにできる						
	看護単位の雰囲気慣れ親しむことができる						
	自分のわからないこと、聞きたいことを素直に表現できる						
	患者の秘密を保持できる						
支 援 を 受 け る	臨床の場面、カンファレンスなどフォーマルな場で自分の意見を述べる ことができる						
	新しい知識や技術を習得できる機会に積極的にチャレンジする						
	プリセプターとの関係を良好に保つことができる						
自 己 管 理	プリセプターに不安や恐れ等について何でも話すことができる						
	学生時代に抱いていた理想と現実の間のギャップを明らかにし、プリセプターに話すことができる						
	看護行為それぞれについて実施後プリセプターよりフィードバックを受けることができる						
	プリセプターとともに現実的な目標を設定することができる						
自 己 管 理	自己の健康管理ができる						
	勤務表にそって生活パターン（リズム）を調整することができる						
	悩みやストレスを感じたとき相談する相手がいる						
	看護師としてやっていけるという自信がもてる						

[総評]

新人の自己評価

所属部署 氏名

インターンシップサマープログラム参加経験:有・無

「評価スケール」 5点:非常にできた 4点:わりにできた 3点:多少できた 2点:殆どできなかった 1点:まったくできなかった

	評価項目	評価成績					コメント
		5	4	3	2	1	
技術 実践	チャート及び電子チャート(患者プロフィール、患者スケジュール、経過表など)の主要な内容を読み取ることができる						
	患者についての情報はどこを見ればよいか分かる						
	レポートの内容が大体わかる						
	一日の看護業務の流れがわかる						
	患者に苦痛があるかどうかを見極めることができる						
	生命の危険の有無を判断することができる						
	その患者にとって何が問題かを述べることができる						
	今、何をすべきかを判断することができる						
	与薬、処置、検査などを行う場合は必ずネームバンドで患者確認ができる						
	基本的なケアが1人でできる						
	与えられた業務を時間内に手順にそってできる						
	わからないことは何かを自覚でき、調べたり聞いたりすることができる						
	業務遂行上、最低限の記録や実施入力ができる						
	1) 体温表						
	2) 患者データベースもしくは患者プロフィール						
3) 経過表、Continuation Sheet、2号用紙、ICU/CCU・救急 PROGRESS RECORD など							
4) 患者スケジュール							
5) フローシート							
態 度	看護単位で働く人の名前と役割を理解できた						
	言葉遣いや態度で患者に不快感を与えないようにできる						
	看護単位の雰囲気慣れ親しむことができる						
	自分のわからないこと、聞きたいことを素直に表現できる						
	患者の秘密を保持できる						
	臨床の場面、カンファレンスなどフォーマルな場で自分の意見を述べる ことができる						
新しい知識や技術を習得できる機会に積極的にチャレンジする							
支 援 を 受 け る	プリセプターとの関係を良好に保つことができた						
	プリセプターに不安や恐れ等について何でも話すことができた						
	学生時代に抱いていた理想と現実の間のギャップを明らかにし、プリセプ ターに話すことができた						
	看護行為それぞれについて実施後プリセプターよりフィードバックを受ける ことができた						
プリセプターとともに現実的な目標を設定することができた							
自 己 管 理	自己の健康管理ができる						
	勤務表にそって生活パターン(リズム)を調整することができる						
	悩みやストレスを感じたとき相談する相手がいる						
	看護師としてやっていけるという自信がもてる						

〔感想など〕

プリセプターの自己評価

所属部署 氏名

「評価スケール」 5点:非常にできた 4点:わりにできた 3点:多少できた 2点:殆どできなかった 1点:まったくできなかった

評価項目		評価成績					コメント
		5	4	3	2	1	
支 援	新人の抱く不安や恐れを理解し、適切に対処した						
	新人が学生時代に抱いていた理想と現実の間にギャップがある場合はそれを明らかにし受け入れた						
	新人と他のスタッフとの信頼関係が成立するように働きかけた						
	新人が何でも言えるような雰囲気づくりを心掛けた						
	ポジティブフィードバックをして勇気づけた						
	看護行為が思うようにできないのは自分の能力不足と思わないように説明した。						
	必要時、ナースリーダーやその他のリソースを活用した						
	新人に対する指導経過をナースリーダーや他のスタッフに伝えた 新人が頑張っていることを認め、ナースリーダーや他のスタッフに伝えた						
実 践	基本的看護技術の手本を示した						
	新人が看護技術を経験する機会を積極的に作った 看護単位におけるナースリーダー・アシスタントナースリーダーおよびスタッフの役割を説明した。						
	ヘルsteamメンバーとのコミュニケーションの方法を示した						
	患者・家族とのコミュニケーションの方法を示した						
	勤務時間内における適切な時間配分の仕方を示した						
	職業人としての態度・マナーを示した						
教 育	新人の学習ニーズを把握した 指導内容は簡単なことから複雑なことへと段階的にアプローチした						
	日々の目標は現実的で具体的なものを示した 新人の成長にあわせてオリエンテーション期間中の短期目標設定を援助した						
	業務遂行の役割モデルを示した						
	成人学習者の特性を踏まえて指導にあたった						
評 価	その都度評価を行い、フィードバックした 新人が失敗した場合はそれを受け止めその原因について話し合った スタッフからのポジティブな評価を積極的に伝え自信を持たせた						
	評価表を用いて適切な評価ができた						

【感想など】

プリセプターに対する評価

所属部 氏名

インターンシップサマープログラム参加経験:有・無

「評価スケール」 5点:非常にできた 4点:わりにできた 3点:多少できた 2点:殆どできなかった 1点:まったくできなかった

評価項目		評価成績					コメント
		5	4	3	2	1	
支 援	新人の抱く不安や恐れを理解し、適切に対処してくれた						
	新人が学生時代に抱いていた理想と現実の間にギャップがある場合はそれを明らかにし受け入れてくれた						
	新人と他のスタッフとの信頼関係が成立するように働きかけていた						
	新人が何でも言えるような雰囲気づくりを心掛けていた						
	ポジティブフィードバックをして勇気づけてくれた						
	看護行為が思うようにできないのは自分の能力不足と思わないように説明してくれた。						
	必要時、ナスマネージャーやその他のリソースを活用していた						
	新人に対する指導経過をナスマネージャーや他のスタッフに伝えていた						
新人が頑張っていることを認め、ナスマネージャーや他のスタッフに伝えていた							
実 践	基本的看護技術の手本を示していた						
	新人が看護技術を経験する機会を積極的に作ってくれた						
	看護単位におけるナスマネージャー・アシスタントナスマネージャーおよびスタッフの役割を説明してくれた						
	ヘルsteamメンバーとのコミュニケーションの方法を示していた						
	患者・家族とのコミュニケーションの方法を示していた						
	勤務時間内における適切な時間配分の仕方を示してくれた						
	職業人としての態度・マナーを示していた						
教 育	新人の学習ニーズを把握してくれた						
	指導内容は簡単なことから複雑なことへと段階的にアプローチしてくれた						
	日々の目標は現実的で具体的なもの示してくれた						
	新人の成長にあわせてオリエンテーション期間中の短期目標設定を援助してくれた						
	業務遂行の役割モデルを示していた						
	成人学習者の特性を踏まえて指導をしてくれた						
評 価	その都度評価を行い、フィードバックしてくれた						
	新人が失敗した場合はそれを受け止めその原因について話し合ってくれた						
	スタッフからのポジティブな評価を積極的に伝え自信を持たせてくれた						
	評価表を用いて適切な評価をしていた						

[総評]

Sunday	Monday	Tuesday	Wednesday	Thursday	Friday	Saturday
			1日	2日	3日	4日
				感染看護コース 感染症と抗菌薬 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:古川 先生(感染症科医 師)		
5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日
			全体看護師対象クラス インスリンスライディングス ケールの概念・見方・使い方 について 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:出雲先生(内分泌内科 医師)	感染看護コース 化学療法を受ける患者の感染 防止;外来における感染防止; 針刺し・切創防止 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:大竹 佐智子(7W), 下平 友紀恵(6E)	レジデントコース・シユエ7 -総論- 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:プロジェクトメンバー	
12日	13日	14日	15日	16日	17日	18日
		全体看護師対象クラス 嚥下障害患者ケア検討会 スクリーニングテストの活用方 法・実際の評価の仕方について 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:村田先生(口腔外科医 師)		感染看護コース 医療器具・処置関連感染と予 防(1) 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:近藤 幸子(5E)	レジデントコース・シユエ7 ハイタルサインと看護 症状・疾患からみるハイタルサイ ンとアセスメント-循環- 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:4W・ハートセンター 交渉中	
19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日
		リターンシップコース 見学研修とコースを振り返っ て、個人発表 9:00~12:00 5階大会議室 講師:プロジェクトメンバー	第2回静脈注射研修プログラ ム I 17:30~19:00 トイラーホール	感染看護コース 医療器具・処置関連感染と予 防(2) 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:内庭 桃絵(4E), 認定看 護師研修生	レジデントコース・シユエ7 ハイタルサインと看護 心電図の基礎 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:4W・ハートセンター 交渉中	
26日	27日	28日	29日	30日	31日	
	第2回静脈注射研修プログラム II 17:30~19:00 1号館 研修室A			スキン・褥瘡・失禁ケアコース 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:南 由起子(ETNs)	レジデントコース・シユエ7 ハイタルサインと看護 症状・疾患からみるハイタルサイ ンとアセスメント-呼吸- 17:30~19:00 1号館 研修室A 講師:呼吸ケアナース 交渉中	